

もくじ

読書への誘い^{いざない}..... 1

| 《推薦図書》 | 《推薦者》 | |
|---|-------|----|
| 『資本主義と闘った男 宇沢弘文と経済学の世界』 佐々木 実 著 | 天野 哲彦 | 4 |
| 『食を料理する 哲学的考察』 松永澄夫 著 | 伊東俊彦 | 5 |
| 『フェルマーの最終定理』 サイモン・シン 著 青木 薫 訳 | 乾 雅博 | 6 |
| 『善悪の彼岸／道徳の系譜』 フリードリッヒ・ニーチェ 著 信太正三 訳 | 伊吹浩一 | 7 |
| 『後藤新平 日本の羅針盤となった男』 山岡淳一郎 著 | 色平哲郎 | 8 |
| 『私の憲法体験』 日高六郎 著 | 鶴飼 哲 | 9 |
| 『抵抗者たち 反ナチス運動の記録』 池田浩士 著 | 岡 真理 | 10 |
| 『企業家としての国家 イノベーション力で官は民に劣るという神話』 マリアナ・マツカート 著 大村昭人 訳 | 金子 勝 | 11 |
| 『石原吉郎詩文集』 石原吉郎 著 佐々木幹郎 解説 | 川本隆史 | 12 |
| 『レオナルド・ダ・ヴィンチの手記』 レオナルド・ダ・ヴィンチ 著 杉浦明平 訳 | 河本英夫 | 13 |
| 『市民の日本語 NPOの可能性とコミュニケーション』 加藤哲夫 著 | 木村直恵 | 14 |
| 『ゲシュタルトクライス 知覚と運動の人間学』 ヴィクトーア・フォン・ヴァイツゼカー 著 木村 敏・濱中淑彦 訳 | 木村 敏 | 15 |
| 『アメリカ・インディアン悲史』 藤永 茂 著 | 小出裕章 | 16 |
| 『日本とアジア』 竹内 好 著 | 古賀 暹 | 17 |
| 『数学の大統一に挑む』 エドワード・フレンケル 著 青木 薫 訳 | 小林一路 | 18 |
| 『新增補版 心の傷を癒すということ 大災害と心のケア』 安 克昌 著 | 斎藤 環 | 19 |
| 『自発的隷従論』 エティエンヌ・ド・ラ・ポエシ 著 山上浩嗣 訳 | 齋藤俊明 | 20 |
| 『オン・ザ・マップ 地図と人類の物語』 サイモン・ガーフィールド 著 黒川由美 訳 | 佐藤裕治 | 21 |
| 『資本主義の終焉と歴史の危機』 水野和夫 著 | 白川真澄 | 22 |
| 『谷川俊太郎詩集』 谷川俊太郎 著 | 立岩真也 | 23 |
| 『科学者が人間であること』 中村桂子 著 | 内藤 酬 | 24 |
| 『戦後史の正体 1945-2012』 孫崎 享 著 | 内藤 耕 | 25 |
| 『山里に描き暮らす』 渡辺隆次 著 | 中村勝己 | 26 |
| 『安吾のいる風景／敗荷落日』 石川 淳 著 | 野家啓一 | 27 |
| 『大菩薩峠』 中里介山 著 | 野口良平 | 28 |
| 『この世界の片隅に』 こうの史代 著 | 畑中小百合 | 29 |
| 『魂と弦』 イヴリー・ギトリス 著 今井田 博 訳 | 幅 至 | 30 |
| 『民主主義の本質と価値 他一篇』 ハンス・ケルゼン 著 長尾龍一・植田俊太郎 訳 | 樋口陽一 | 31 |
| 『大地と星輝く天の子』 小田 実 著 | 玄 順恵 | 32 |
| 『吉本隆明詩集』 吉本隆明 著 | 平田 匠 | 33 |
| 『ご冗談でしょう、ファインマンさん』 リチャード・フィリップス・ファインマン 著 大貫昌子 訳 | 宮元健輔 | 34 |
| 『生命とは何か 物理的にみた生細胞』 エルヴィン・シュレーディンガー 著 岡 小天・鎮目恭夫 訳 | 森永和英 | 35 |
| 『科学革命の構造』 トーマス・クーン 著 中山 茂 訳 | 米本昌平 | 36 |
| 『家郷の訓』 宮本常一 著 | 渡辺京二 | 37 |
| バックナンバー | | 38 |

河合文化教育研究所

河合文化教育研究所の歩み 44

主任研究員 45

出版 河合ブックレット・単行本 47

主任研究員の著書から大学入試問題が出題！・研究会紹介 52